

平成 20 年 11 月 28 日

アグリクラスターファンド

第 1 号投資実行のお知らせ

「有田農産有限会社」に 200 百万円を投資

株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡市 代表取締役 森 大介）が運営を行い、株式会社鹿児島銀行のほか、鹿児島県下の有力企業 6 社（小正醸造株式会社、坂元醸造株式会社、薩摩酒造株式会社、株式会社新日本科学、株式会社タイヨー、株式会社南九州ファミリーマート）[50 音順]が出資する「アグリクラスター投資事業有限責任組合」（愛称:アグリクラスターファンド）は、有田農産有限会社（本社：鹿児島県曾於郡 代表取締役 有田 通文）に総額 200 百万円の投資を実行致しました。本件投資が、当ファンドの投資実行第 1 号となります。



有田農産有限会社は、平成 13 年に農業生産法人として設立されて以来、大根を主体とした機械化一貫作業体系を確立し、年間の作付面積が約 126ha にも及ぶ露地野菜経営を展開してきました。平成 17 年には有機 JAS 認定および有機加工食品認定、かごしまの農林水産物認証取得、平成 18 年には全国農業コンクール全国大会で優秀賞を受賞するなど、その商品力は全国的に高く評価されています。

また、青果の仕入においては、県内の同業者をはじめ、東北地方の JA 等と連携を行うなど、県内外を問わず積極的な連携により、1 年を通じて安定的な商品供給体制を構築しています。

今般、有田農産有限会社が新規事業展開の一環として実施する青果加工場新設等の設備投資について、下記理由より当ファンドの支援対象に合致するものと考え、投資を決定し実行致しました。

- 今回の設備投資は有田農産有限会社において『商品の安定供給実現・品質均等化（高品質化）・高付加価値化（ブランド化）』が図れる等、業績・認知度への貢献度合いが非常に大きいものであること。
- 今回の設備投資は新たな地域住民の雇用創出や担い手不足・高齢化により生じている耕作放棄地・遊休農地の有効活用に繋がる等、地域活性化にも直結するため、社会性を鑑みても意義深いものであること。

投資実行後は金融面での支援のみならず、当ファンドの出資企業にも協力を受けながら、財務管理等の経営指導や商流拡大に向けた営業的支援を実施し、有田農産有限会社の企業価値向上を側面から支援して参ります。

■投資内容

投資種類	社債投資
投資総額	200百万円
投資実行日	2008年11月28日
投資回収期間	7年
資金使途	設備投資資金（青果加工場新設等）

■投資先概要

会社名	有田農産有限公司（農業生産法人）
住所	鹿児島県曾於郡大崎町仮宿 3459 番地
代表者	代表取締役 有田 通文
事業内容	青果（主に大根）の生産販売及び仕入販売
設立	平成13年8月28日
資本金	10百万円

■「アグリクラスター投資事業有限責任組合」概要

ファンド総額	7億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組員	・株式会社 ドーガン・インベストメンツ http://www.dogan.jp/
有限責任組員 (五十音順)	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社鹿児島銀行 http://www.kagin.co.jp/ ・小正醸造株式会社 http://www.komasa.co.jp/ ・坂元醸造株式会社 http://www.kurozu.co.jp/ ・薩摩酒造株式会社 http://www.satsuma.co.jp/ ・株式会社新日本科学 http://www.snbl.co.jp/ ・株式会社タイヨー http://www.taiyonet.com/ ・株式会社南九州ファミリーマート http://mfamily.co.jp/
投資対象	<p>下記の問題点及び戦略を持つ南九州地区（鹿児島・宮崎・熊本）の農業法人・中小企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業サイクルと決算サイクルのミスマッチに悩んでいる企業 ・農業特有のリスク（天候リスク等）に悩んでいる企業 ・新規市場参入、新規事業展開を図りたい企業 ・農業のグローバル化への対応を図りたい企業（東アジアへの輸出の模索） ・農業法人として大規模化を目指す企業 ・資金調達を多様化したい企業 など
主な投資形態	・社債 ・株式 ・新株予約権 ・新株予約権付社債 等
組合の存続期間	10年（最大2年間まで延長可能）

本件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン・インベストメンツ <http://www.dogan.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-22

TEL：092-739-2311（担当：藤崎）

FAX：092-739-2317